

これまでの検討経緯

平成21年度からこれまでに計5回の住民説明会が行われています。
いただいた多くのご意見は施設整備の内容に盛り込まれています。

○建設場所について

- ・周辺インフラの状況や野鳥観察に適する場所かどうかを検討。
- ・5か所の候補地を選定し、野鳥や湿地植生の観察に適し、交通アクセスが容易で、既にインフラが整備されている白鳥公園横の河川敷きを選定。
- ・環境学習や調査研究を主目的とした施設建設であり、白鳥公園観察舎と機能分担を明確化。

○ヒオウギアヤメ・希少種の保全について

- ・住民の方が馬を放牧するなどして保護してきたヒオウギアヤメ再生地の改変面積を可能な限り最小とするため、大幅に施設位置を変更。
- ・施設建設予定地に入るヒオウギアヤメについては移植・保全。
- ・ヒオウギアヤメの移植には、地下水位・酸性度の調査を実施し、生育環境を勘案して移植場所を決定。
- ・施設建設地周辺の希少植物の調査を実施し、施設位置を検討。

○展示内容について

- ・展示テーマは、『環境と生命のかかわりを知る。』とし、自然環境と生物のつながりを伝えることのみならず、瀧沸湖と共生してきた地域住民のかかわりを展示に取り入れ内容構成。
- ・ヨシ原をイメージした展示構成で、開放感のある空間利用。
- ・地域住民と湖との関わり・歴史を展示に活用する計画で、地域住民が展示に登録する内容。

○施設名称について

- ・多くの水鳥が集まり、湿地が保全されていることから、『水鳥・湿地センター』を提案。
- ・『瀧沸』については、「瀧沸」「瀧沸」「とうふつ」の中から、「瀧沸」の漢字体を選定。

○施設建設の広報について

- ・これまでの議論の過程が説明会に出ていなくても把握できるよう、専用のホームページを立ち上げ、広報チラシを配布。

○整備スケジュールについて

- 平成23年5月：ヒオウギアヤメの移植
- 5月下旬～：内部展示施設工事（翌年3月まで）
- 7月～：本体・外構工事（翌年3月まで）
- 平成24年5月頃：施設オープン（予定）

○管理運営体制について

- ・瀧沸湖に関連する各団体と地元自治体等で検討中。

施設建設位置の計画変更



○整備に関するお問い合わせ
環境省釧路自然環境事務所
電話：0154-32-7500
FAX：0154-32-7575
○下記ホームページで施設整備の詳細を公開中
<http://www.>

とうふつこ 瀧沸湖ラムサール条約湿地に

水鳥・湿地センター（仮称）ができます！



とうふつこ 瀧沸湖

「瀧沸湖」と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？

オオハクチョウの飛行、一面に咲くヒオウギアヤメ、斜里岳を望む雄大な風景…。
皆さんが思い浮かべるものすべてが瀧沸湖の大事な要素の一つです。

この瀧沸湖は、釧路国定公園、国指定瀧沸湖鳥獣保護区に指定され、ラムサール条約湿地にも登録されています。

ラムサール条約湿地

瀧沸湖は水鳥の生息地として国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に指定されています。ラムサール条約湿地には、単なる自然の保護だけではなく、自然資源の賢明な利用（ワイズユース）が求められています。



とうふつこ 瀧沸湖水鳥・湿地センター（仮称）

瀧沸湖水鳥・湿地センター（仮称）は、地域の環境学習や保全調査・研究、瀧沸湖に関わる皆さんの交流・活動の場をすることを目的として、環境省がラムサール条約湿地に整備するビジターセンターです。

発行：  環境省釧路自然環境事務所

とうふつこ

澇沸湖水鳥・湿地センター（仮称）

建設予定地：網走市北浜 白鳥公園

敷地面積：6,092.42㎡

建築面積：596.16㎡ 延床面積：563.76㎡

最高高さ：8.40m

木造平屋建て 切妻屋根形状

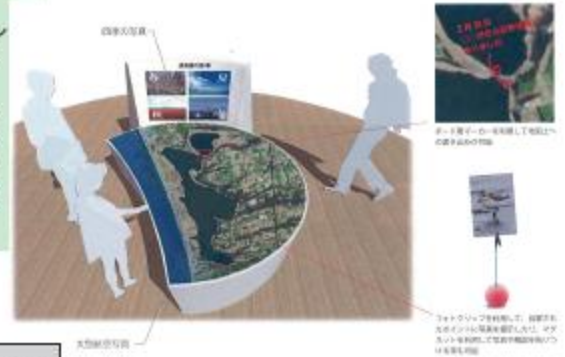
環境性能の高いヒートポンプ冷暖房を導入

想定年間利用者数：55,000人（基本構想時）

駐車場：普通20台、バス5台、管理用6台



A インフォメーション施設の基本的な紹介から、澇沸湖の位置関係、澇沸湖の重要性に関するインフォメーションを配置。大型航空写真を用いた空からの澇沸湖を見ることができます。



展示構成 メインテーマ：環境と生命の関わりを知る
サブテーマ：澇沸湖の特別性、地域の環境学習
展示は、インフォメーション(A)、解説用展示(B)、レクチャー用展示(C)、活動報告用展示(D)、資料展示(E)に分類して展示します。

澇沸湖での自然環境学習のために

E 資料展示
澇沸湖に関連する実物資料の資料展示室を配置します。
澇沸湖に関わりのある地域の方々が収集した澇沸湖にゆかりのある品をお借りして、そのままの状態で開催します。
標本の他、実際に利用していた漁具や農機具などの展示も行う予定です。



※ 施設見取り図

B 解説用展示
壁の低い落ち着いた曲線を描くパーテーションがグラフィックパネルとなります。地域の人々と澇沸湖の関わりを、本型展示として「生の声」を紹介します。
※本型展示の他に、澇沸湖の自然環境の紹介パネルが展示を彩ります。



※ 施設平面図

D 活動報告用展示
調査・研究報告や偶発鳥獣保護、鳥インフルエンザの建報などの他、地域活動の報告発表の場。



C レクチャー用展示
実際に平にとって体験する体験型アイテム（ハンズオングッズ）を配置します。